

報道関係各位

2010年5月19日
RIA コンソーシアム・市場動向研究WG

UI デザインの重要性は、さらに増加の傾向が

デザインとシステム開発の垣根を超える人材に期待

RIA コンソーシアム（理事長：西島寛治）は、このたび「RIA ビジネス利用調査」を実施いたしました。

この調査は、RIA（Rich Internet Application）の普及と発展を目的とする RIA コンソーシアムにとり、実際の市場動向の現状と、RIA の課題と解決策を浮き彫りにすることに大きな意味があるものと考えています。

昨年度まで行っていた一般のユーザーをターゲットにしたアンケートを一時休止し、今回はシステムを導入する立場の方により深い動向を調査するため、情報システム担当者や決定者をターゲットとしてアンケートを実施いたしました。

今回の調査結果から、不況の中での「無駄のない投資」志向や、操作性の高い UI（ユーザーインターフェース）デザインへのさらなる期待が読み取れました。

今後も RIA コンソーシアム・市場動向研究WG では、定期的な調査により、RIA を通じてビジネス社会に貢献できる活動を続けていきます。

【調査概要】

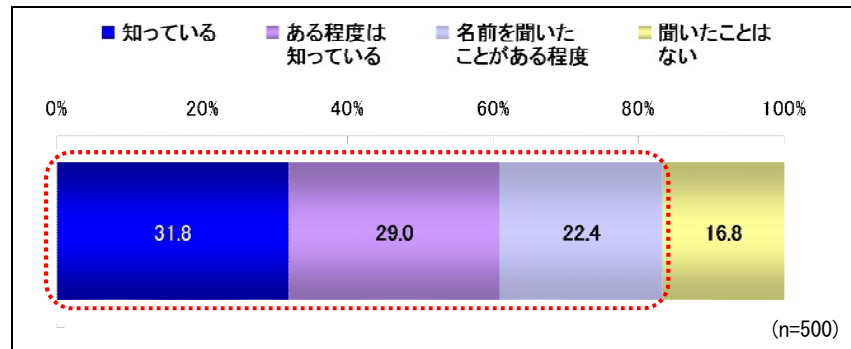
調査目的	: 今後一層の導入が期待される RIA に関して、一般の企業にとっての認知、導入実績、ニーズを探り、市場の状況を定期的に確認する
調査対象	: 一般の事業会社の情報システム担当者 ※システム導入に関して検討・申請・決定する立場にありかつ導入経験がある人
調査主体	: 楽天リサーチ社
調査方法	: インターネット調査
抽出方法	: 楽天リサーチ社の BtoB インターネットパネルを無作為に抽出し、スクリーニング後、調査を依頼。
回答者数	: 500 名
対象地域	: 全国
調査時期	: 2010 年 1 月

■ RIA の浸透度

RIA の認知度については約 6 割が「ある程度は知っている」と回答しており、「名前を聞いたことがある程度」を含めると 8 割を超える結果となりました。

この結果から、今回のアンケートの対象者である情報システム部門の担当者からは、RIA は非常に高い認知度を得ていることがわかりました。

Q. あなたは「RIA」のことをご存知でしたか。

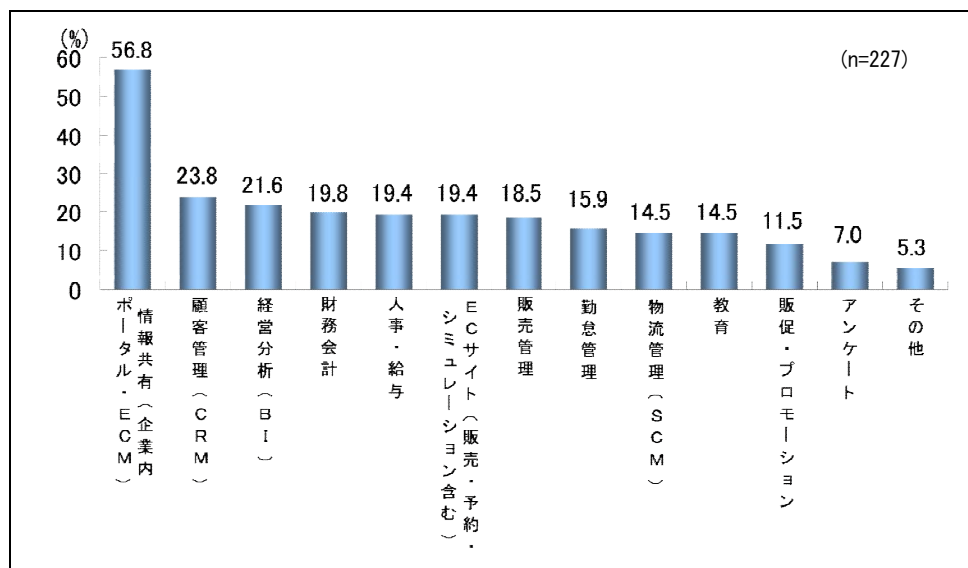


■ RIA の導入業務

実際に RIA が導入・検討されている業務を見てみると、「情報共有 (企業内ポータル・ECM)」が突出しており、その他の業務では概ね 15%~20%の導入率となっています。

この結果から、情報共有以外の業務では未だ RIA の導入は進んでいないと考えられ、今後も導入の余地は十分にあると言えます。

Q. RIA を導入/検討している (していた) のはどのような業務ですか。



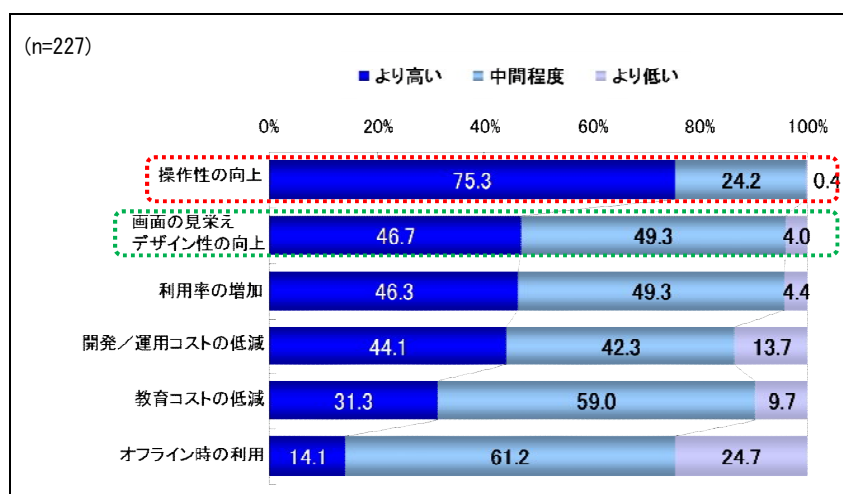
■ RIA 導入で期待する効果と満足度

RIA 導入で期待する効果の一位は「操作性の向上」で、約 75%を占める結果となりました。

例年の一般向けアンケートにおいても、今後 Web アプリケーションへ期待するものは「操作性」となっており、常に 8 割ほどの回答が得られていることから、RIA 導入が担うべき役割は、一般の利用者の期待ともシステム担当者の期待とも一致していると言えます。

操作性の次に期待するものとして、「画面の見栄え、デザイン性の向上」があげられています。これは過去の一般ユーザーに対する数値と比較しても上昇傾向にあり、UI（ユーザ・インターフェース）に対する意識の高まりが感じられます。

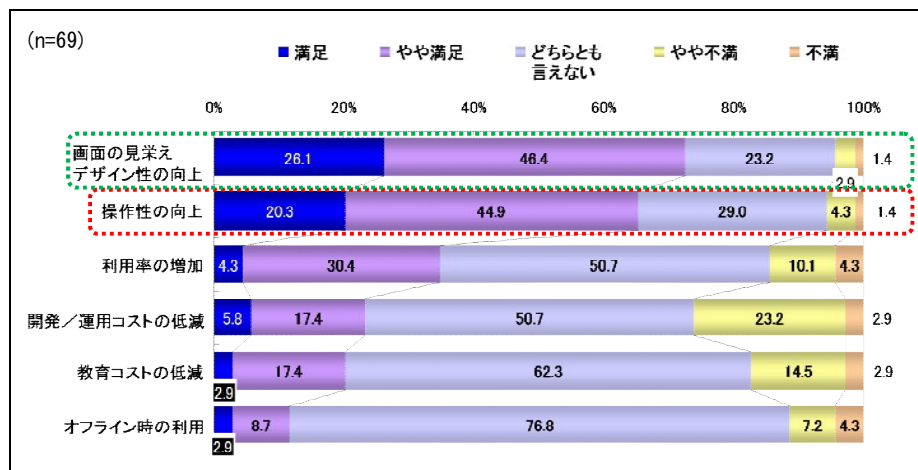
Q. RIA 導入で期待する効果の高さはそれぞれどのくらいですか。



RIA 導入後の満足度も上記の期待する効果と同様、「画面の見栄え、デザイン性の向上」、「操作性の向上」の満足度が高い結果となり、この 2 点に関しては、期待に沿う結果を提供できているといえます。

また、一般市場で提供されている携帯電話／スマートフォンなどの優れた UI が普及していることを踏まえると、今後「画面の見栄え、デザイン性の向上」への期待は更に高まっていくと考えられます。

Q. 導入してみて下記項目はそれぞれどの程度満足されていますか。



■ IT 投資予算から見る RIA 展開の可能性

IT 投資予算の規模について質問したところ、

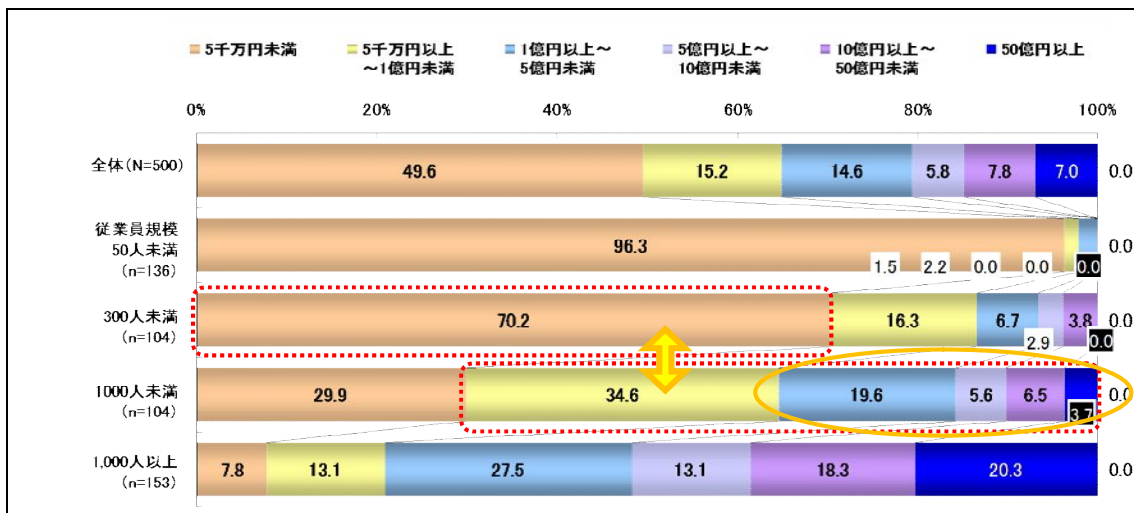
300 人未満では IT 投資規模 5,000 万円未満が 70% となっており、1,000 人未満の IT 投資規模 5,000 万円以上の合計と同等になるため逆転現象が起きていることが読み取れます。

また、従業員数 1,000 人未満の規模で、1 億円以上の IT 投資予算の総計が約 35% に上り、RIA のターゲットとして 1,000 人以上の大企業のみならず中堅企業にも展開する余地がかなりあると考えられます。

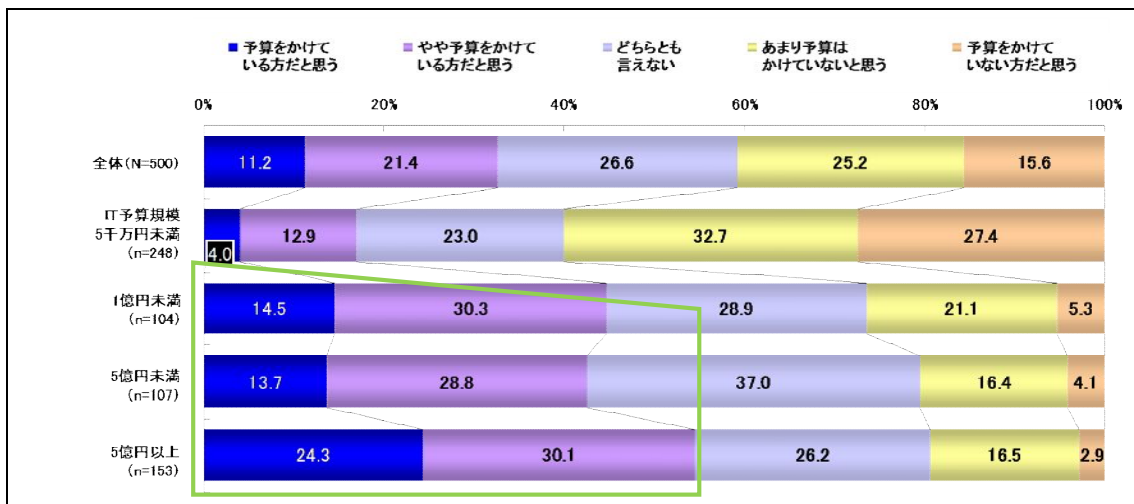
UI 構築を IT 予算規模別にみると、5,000 万円以上の規模では UI 部分に 40~50% ほど予算をかけているとの回答になっており、RIA 導入の可能性有無の分岐点になっていると推察されます。

従って、従業員規模で 300 人以上 / IT 投資予算規模で 5,000 万円以上が RIA の導入に対して検討の土俵に乗ると考えられます。

Q. 御社の 2010 年度の IT 投資予算のおおよその規模をお聞かせください。



Q. 御社では自社のシステムの構築にあたって、UI にどのくらいの予算をかけていますか。

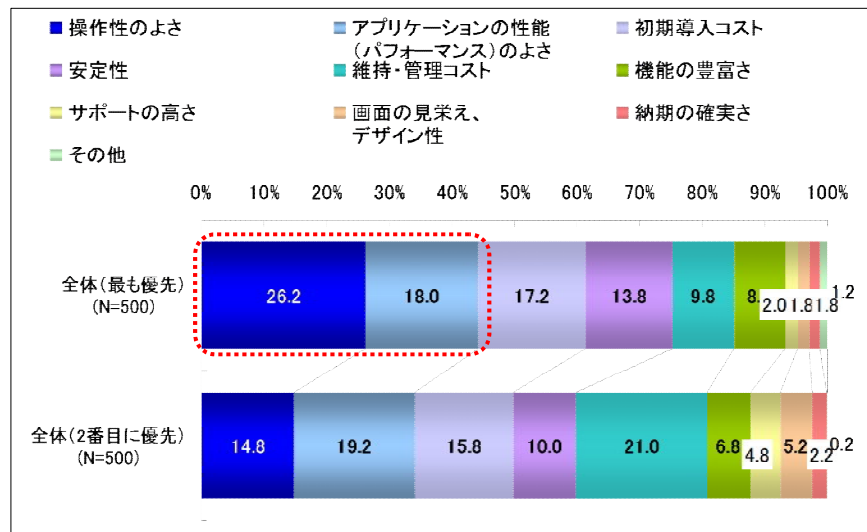


■ システム導入にあたっての考え方

開発にあたって優先するものはコスト面よりも「操作性のよさ」や「アプリケーションの性能」など、安定した品質を求める割合が大きいという結果が得られました。これは過去の一般向けアンケートと同様です。

ここからも、顧客は費用よりも実際の業務や要件をいかに実現するかという点を重要視していることが推察できます。

Q. 業務アプリケーション開発にあたっての基本要件のうち、優先するものはどれですか。

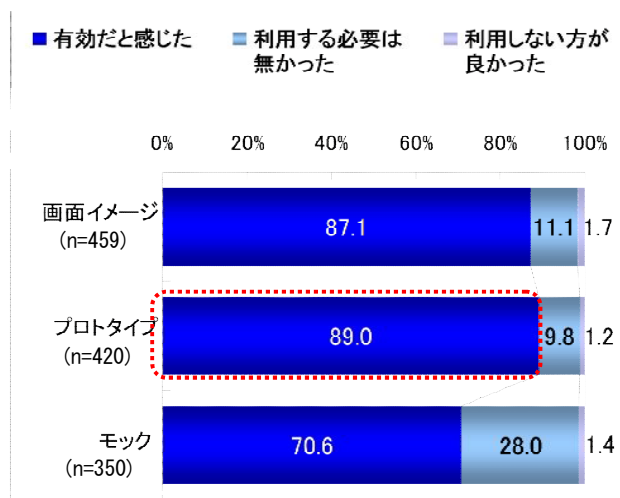


また、実際に機能・操作性の検討時に有効だったものとして、「プロトタイプ（機能の一部を実際に動くモデルとして早期に作成したもの）」がトップにあがりました。

他の手法よりもコスト高であるにもかかわらず、「有効と感じた」という意見が約9割を占めていることから、プロトタイプ手法の導入は要求の実現に高い効果を発揮し、顧客満足につながるということが推測できます。

多くの顧客が「少し高くてもいいものがほしい」「開発で本格的に費用投下する前に十分な見積もりをしたい」と考えており、その中でも満足度の最も高いプロトタイプ手法の導入は、今後も顧客の満足度を高め、いく上で有効といえます。

Q. 下記項目を利用したケースでの評価をお聞かせください。

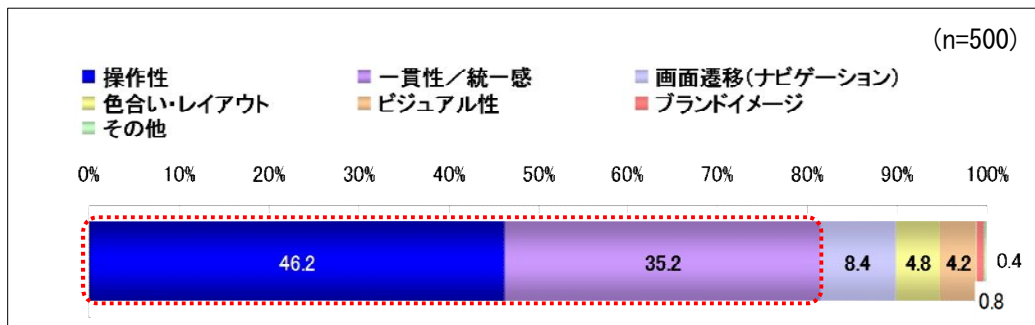


■ デザインの重要度・満足度

デザインで一番重要な要素としては過去に行った調査同様、「操作性」となりました。利用者とシステム担当者のどちらに対するアンケートでも同様の結果であることから、「操作性がよい＝デザインが良い」あるいは「操作性が悪い＝デザインが悪い」という認識は強いと推測できます。

また、一貫性/統一感が次点となったのは、統一された UI では操作に迷うことが少なく、操作性向上につながると多くの人考えたためであると考えられます。

Q. 業務用システム・アプリケーションにおいて、『デザイン』で一番重要な要素は何だと思いますか。

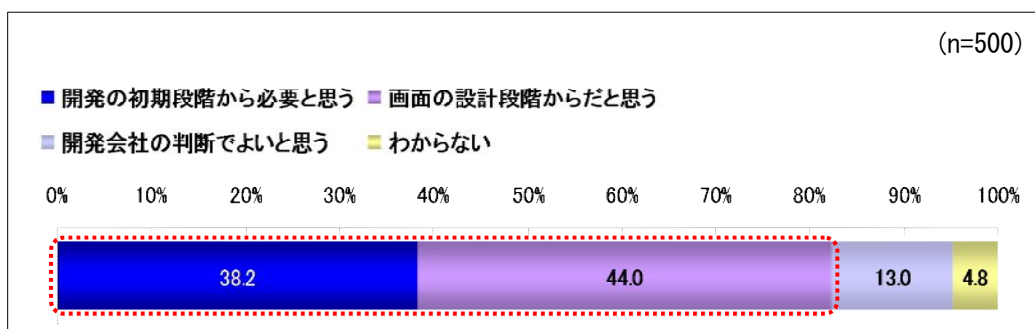


デザイナー投入の時期については、かなり早い段階から要望されています。「操作性がよい＝デザインがよい」という意識から、開発の初期段階でのデザイナーの参画が期待されているといえます。

また前述の画面イメージよりもプロトタイプの方が有効だと感じる率が高かったことから、デザイナーの役割は単なる画面イメージの作成ではなく、モックやプロトタイプをアウトプットすることと想定しているようにも思えます。

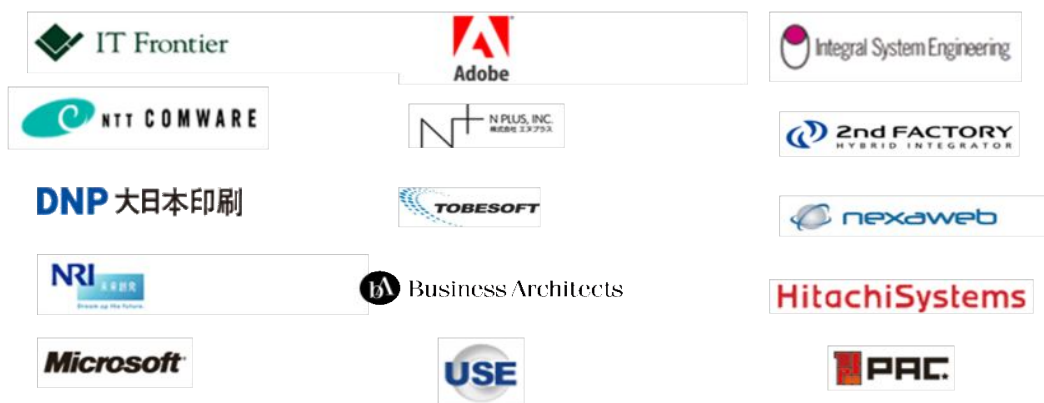
上記のことからも今後は、デザイナーと開発者の垣根を越えた人材が必要といえます。また、そのような人材を育てるための場の提供も求められているのではないのでしょうか？

Q. 『デザイナー』の参画が必要となるのはどのようなタイミングだとお考えですか。



RIA コンソーシアムについて

- 会員数 35 社 ※2010 年 5 月現在(下記参照)
- 理事長 西島寛治 (株)大日本印刷 C&I 事業部 事業部長)
- 事務局 〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー20F
- URL <http://www.riac.jp>.



(株)アシスト、
インフラシステムズ・ジャパン(株)、
(株)エム・イー・シー、
TDCソフトウェアエンジニアリング(株)、
ネクサート(株)、
(株)レーベン、

(株)アック、
(株)L's Style
(株)ベストロン、
(株)ワコム、

(株)インテックシステム研究所、
(株)ウェブプロデュース、
(株)オーク情報システム、
(株)電通国際情報サービス、
(株)ホータルアイランド、

(株)インフォディオ、
(株)NTTデータ、
(株)情報技術センター、
ナレッジワークス(株)、
楽天(株)、

以上

お問い合わせは、以下までお願い致します。

RIA コンソーシアム事務局

〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー20F

Tel : 03-5405-7571 Fax : 03-5405-7570

e-mail : office@riac.jp